

組合設立70周年記念祝賀会を開催

萬古陶磁器工業協同組合(藤井健司理事長)は、2月22日(土)、都ホテル四日市で組合の設立70周年記念祝賀会を開催しました。

祝賀会には、岡田克也衆議院議員をはじめ来賓28名を交えた総勢65名が出席し、同組合の設立を祝いました。藤井理事長は、主催者挨拶で「萬古焼のこれまでの70年は先人達が創り上げてきて頂いたもの。我々には、次につなげていく責務があるが、この伝統を単に守り引き継ぐだけでは、産地が陳腐化するだろうと考える。今後の萬古焼を活性化させ、新たな伝統を作り上げていくのは我々であり、本日お集まりの組合員をはじめ関係各位とともに力を結集して臨んでいきたい。」と述べられました。

また、式典では、同組合の特別功労者として、元理事長の渡邊昇衛氏と清水洋氏が表彰され記念品の贈呈などが行われました。



藤井理事長

情報処理技術者試験に合格した県立高校生に図書カードを贈呈



廣島朗校長(右)と熊崎理事

三重県コンピュータ業協同組合(小柴眞治理事長)は、経済産業省が認定する情報処理技術者試験に挑戦している高校生を支援しており、2月28日(金)、情報処理技術者試験のスキルレベル2以上(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等)に合格し、県立高等学校を令和2年3月に卒業する生徒45名に、図書カードを贈呈しました。

今回は、宇治山田商業高等学校に組合の理事である熊崎孝氏(株式会社松阪電子計算センター 代表取締役社長)が訪問し、廣島朗校長に目録を、13名の代表生徒に図書カードを手渡しました。

熊崎理事からは「大変難しい試験に合格し、おめでとうございます。これからも更に上を目指して情報処理技術者試験に挑戦し、頑張ってください。三重県コンピュータ業協同組合としても僅かですが支援させていただきたい。」とエールを送りました。

また、贈呈終了後、贈呈を受けた生徒からIT業界についての質問を受け、熊崎氏が丁寧な返答を行いました。

三重県に布マスクを寄贈

三重県衣料縫製工業組合(笠井敏行理事長)は、新型コロナウイルス感染症防止に協力するため、5月8日(金)、三重県に大人用500枚、子ども用500枚、合計1,000枚の布マスクを寄贈しました。

寄贈した布マスクは、5組合員(有限会社笠井産業、ネイション産業株式会社、株式会社ミズタニ、有限会社山源縫製、株式会社MAGLIA MH)が、自社で製造しました。当日は、三重県庁に組合の副理事長である村田誠司氏(ネイション産業株式会社 専務取締役)他5名が訪問し、大橋範秀子ども・福祉部部長にマスクを贈呈しました。村田副理事長は「縫製業も感染症の影響で苦境に立たされているが、一丸となって感染防止に貢献したい。」と挨拶をしました。

マスクは、県内にある5つの母子生活支援施設に配布される予定です。



大橋範秀部長(左端)にマスクを手渡す村田副理事長(右端)